

2013

8

No. 95

Miyakojima City
Public Relations

広報

みやこじま



大好きなマンゴーを手に
笑顔でピース!



マンゴー 5箱 (10kg) 争奪 じゃんけん大会



先着 50 名にマンゴー 1 個プレゼント



マンゴーかき氷早食い競争



高校生カフェ んまがめ家



友好都市 藤枝市 (静岡県) の特産品ブース



宮古島市イメージキャラクター
「みーや」



今月の主な内容

- 市長公約進捗状況 P2
- 国民健康保険課からのお知らせ P14
- 「現況届」の提出を忘れずに！（児童扶養手当等） P15
- 宮古島市議会議員選挙のお知らせ P16
- 平成 25 年度 宮古島市職員採用候補者試験公告 P19

市長公約進捗状況



下地敏彦市長は、平成21年1月25日付、第2代目の宮古島市長として就任しました。就任後は、政権公約として掲げた8大基本政策の具現化に向け、市民並びに関係者の皆様のご支援、ご協力の下、丁寧にスピーディに取り組んできました。

また、平成25年1月より、第2期目がスタートしています。

今回は、市長第1期目の仕上げの年となった平成24年度の取り組み内容と進捗状況を公表します。

なお、進捗状況は、公約目標年度における達成状況を示しております。

(平成25年3月末現在)

個別施策	平成24年度における主な取り組み内容	担当課名	目標年度 (進捗状況)
3 農林水産業の振興			
《農業》			
1) ①土地改良事業の推進(市実施事業)	(平成24年度事業) ・ほ場整備(6地区) 36.57ha 466,344千円 ・畑地かんがい整備事業 41.20ha 241,583千円	農地整備課	H21~H24年度 (100%) (全体計画の71%)
1) ②農村生活環境整備、農地等保全管理事業の推進(市実施事業)	農業農村整備事業(管理計画) 村づくり交付金(4地区)・・・176,717千円 団体営農地保全整備事業(4地区)・・・230,004千円 団体営ため池等整備事業(1地区)・・・34,604千円	むらづくり課	H21~H24年度 (100%)
2) WTOに対応したサトウキビ生産方式の検討と関税引き下げ対策への取り組みの強化	政府はTPP交渉へ参加を宣言しています。TPPに参加した場合、農産物等に壊滅的な打撃を与えることが懸念されるため、JAや県と連携しTPPの全国集会(H24.11.14)にあわせて宮古地区説明会を開催しました。また、JA中央会主催のさとうきび農業代表者集会(H24.11.20)へも宮古島市から参加しました。	農政課	H21~H24年度 (100%)
3) 新規商品への支援強化	平成23年度に、大豆の栽培技術確立のための実証実験を行い、また、パインアップル栽培研究会を立ち上げ現地検討会を実施しました。 また、平成24年度に、宮古島産かんしょ(芋)6次産業化プロジェクト事業で、芋の加工工場を整備しました。また、「宮古島市いも生産販売組合」を設立し、商品の開発と消費拡大に取り組んでいます。	農政課	H21~H23年度 (100%)
4) 肉用牛等畜産への支援強化	子牛拠点産地として平成21年7月に県から認定を受け、平成23年4月には肉用牛(肥育牛)拠点産地として認定を受けています。 子牛拠点産地化事業として、和牛子牛適正出荷奨励補助金として子牛の適正出荷に対し、15,399千円の助成金を交付しました。子牛のセリ出荷実績として平成24年度は、5,458頭(前年度:5,526頭)を出荷し、2,182,835千円(前年度:2,084,782千円)の販売実績がありました。 今後も、地域の特性を生かした産地形成に取り組めます。	畜産課	H21~H24年度 (100%)
《林業》			
1) 緑の創出の推進	・森林環境保全直接支援事業(流域の事業名変更により) 77,433千円 ・特定森林造成事業 12,600千円 ・里山エリア再生交付金事業はH22年度より廃止		H20~H24年度 (100%)
2) 防風林及び公園・緑地用樹木の育成	・花いっぱい・緑をつくる条例推進事業 844,870円 ・植物園に水辺の空間を創出するとともに周辺に100種類以上の花木を植栽し、リニューアルを図っています。 ・道路植栽里親制度の活用促進を図るため、苗木の無料配布を行いました。	みどり推進課	H20~H24年度 (100%)
《水産業》			
1) 製氷施設等水産物流通施設の整備と流通システムの構築	平成22年度に池間・佐良浜両漁港に製氷施設を設置しました。また、平成23年度には台風で被害を受けた池間漁港の無線施設を修繕しました。	水産課	H20~H22年度 (100%)
2) パヤオの増設	平成20年度1基、平成21年度1基、平成22年度1基を設置しました。	水産課	H20~H23年度 (100%)
3) 貝類・藻類養殖事業の推進	タイワンガザミ、シラヒゲウニ、シャコ貝(ヒメジャコ)、ハマフエフキ(タマン)の放流を行いました。また、モズクの拠点産地認定を目指し、モズク産地協議会を設立し品質の安定とブランド化に向けた取り組みを行っています。	水産課	H20~H22年度 (100%)
4) 水産業の振興・種苗供給施設の整備	平成21年度に久松漁港にモズク種苗供給施設を設置しました。 平成23年度に「地域特性を活かした持続可能で儲かる漁業の推進」を基本理念とする第1次水産振興計画を策定しました。 平成24年度に海業センターの機能強化に向け、海業センター整備基本計画検討調査業務を実施しました。	水産課	H21年度 (100%)

個別施策	平成24年度における主な取り組み内容	担当課名	目標年度 (進捗状況)
1 市行政組織の改革			
1) 分庁方式の見直しを含めた組織機構の効率的運用と改革の早期実施	福祉保健部を「福祉部」と「生活環境部」に分割し、福祉事務所の業務と市民生活に直結した部署の集約を行い、また、建築課を設置し、住民サービスの向上と効果的な執行体制の構築に努めました。	行財政改革班	H21~H24年度 (100%)
2) 指揮命令系統の徹底と責任所在の明確化	管理監督者を以下の研修に派遣しました。 ・監督者研修派遣(4名) ・管理者研修(2名)		H21~H24年度 (100%)
3) 信賞必罰の徹底	各種研修へ職員を派遣し、職員の資質向上に努めました。 また、講師を招聘して研修会を開催し職員の資質向上に努めました。 《派遣》 ・新採用職員研修(26名)・税務研修(3名) ・給与実務研修(1名)・政策プランナー養成研修(2名) ・財務会計研修(4名)・ルール研修(5名) ・法制執務研修(3名)・シラヒゲウニ研修(2名) ・その他研修(13) 《講師招聘》 ・みどりの分権改革(120名) ・一括交付金に関する講演(138名) ・人生を楽しく(100名)・女性キャリアデザイン研修(10名) 人事評価システムについては、未導入 宮古島市服務規程に沿った「服務規程Q&A」の職員への周知徹底を行いました。	総務課	H21~H24年度 (90%)
4) 各種プロジェクトの創出・導入に向けた体制の強化	今後、一括交付金の活用及び国の経済活性化対策により建築関係事業の増加が見込まれるため、中・長期的な視点に立ったビッグプロジェクトを推進し、効果的な執行体制を構築するため、建築課を設置しました。	行財政改革班	H21~H24年度 (100%)
2 市財政の立て直し			
1) 市職員数の類似市並みにするための計画的縮減の実施	第二次集中改革プラン(H22~H26年度)の定員適正化計画に基づき職員数の削減を進め、平成24年度は839名となっています。(H22年度⇒910名)・(H23年度⇒880名) 平成24年度の勤奨退職者3名。	行財政改革班 総務課	H21~H24年度 (100%) H22~H24年度 (100%)
2) 現在実施している全ての事業の総点検と見直しの推進	平成23年度に、前期基本計画の検証をもとにした後期基本計画を策定しました。 第二次集中改革プラン(H22~H26)を策定し、事務事業の再編等を進めながら、市単独補助金・行政事務全般の検証を行いました。	企画調整課 行財政改革班	H21~H24年度 (100%) H21~H24年度 (100%)

個別施策	平成 24 年度における主な取り組み内容	担当課名	目標年度 (進捗状況)
7 宮古島活性化のためのプロジェクト推進			
1) 天然ガスを活用したコンビナートの建設	県の事業である「天然ガス資源活用促進に向けた試掘調査事業」においては、平成 24 年度に「天然ガス資源試掘候補地選定委員会」が 2 回開催され、城辺保良地区が試掘場所の一つとして選定されました。	エコアイランド推進課	H21～H24 年度 (40%)
2) 温泉水を利用した保養及びリハビリ施設の誘致	温泉水を活用した施設については、大型リゾートホテルや病院等がすでに活用を始めています。 また、県において「天然ガス資源有効活用検討委員会」は、平成 25 年度に実施する試掘調査事業を踏まえて、試掘後の天然ガス資源の有効活用促進に向けた計画策定を進めることとしています。	エコアイランド推進課	H21～H24 年度 (100%)
3) 伊良部大橋建設の促進	早期完成に向けて、引き続き県及び関係機関と協議を進めてまいります。	企画調整課 道路建設課	H21～H24 年度 (100%)
4) 中小企業への支援促進	宮古島市小口資金融資制度により、事業を営む小規模事業者に対し、事業活動に必要な資金を融資しました。(平成 24 年度: 2 件、4,800 千円)	商工物産交流課	H21～H23 年度 (100%)
5) 特色あるホテル建設の促進	新しいホテル建設については、市内各地において民間事業者により都市型・リゾート型ホテルの建設または計画が進められています。 また、天然ガスの試掘調査が平成 25 年度に実施されることから、天然ガスに付随する温泉水を活用した宿泊施設の整備が期待できます。	企画調整課	H23～H24 年度 (80%)
6) 土地改良事業の促進(国・県との事業)	国営宮古伊良部土地改良(かんがい排水)事業は、総事業費 523 億円のうち、平成 24 年度は 35 億 4 千 7 百万円の事業を執行し、平成 24 年度までの執行額は 86 億 6 千 3 百万円です。平成 24 年度の主な工事は、仲原地下ダム工事 141m、伊良部導水路工事 4.4km を実施しました。	農地整備課	H21～H24 年度 (100%) (全体計画の 17%)
7) 島全体を対象とした電線地中化の促進	・県道高野西里線(平良港入り口から北給油所)の電線共同溝整備事業は、平成 23 年度に工事完了しました。 ・国道 390 号線については、平成 26 年度完成予定で現在工事が進められています。	都市計画課	H21～H24 年度 (100%)
8) 下地島空港及び残地活用計画の策定	・残地については、下地島空港等利活用計画や下地島農業基本計画を推進し、新たな農業による高所得や空港と連携した農業の振興に資するために農業的利用ゾーンを県より買い受けました。(182,500 千円) ・空港の利活用については、県が主催する下地島空港利活用検討協議会が、現状や課題を検証し、実現可能性が高く持続的な利活用策を引き続き検討することとしています。	企画調整課	H21～H24 年度 (90%)
9) 地域における伝統文化・行事等の継承・保全のための支援	指定の無形民俗文化財保存団体への管理委託を実施。 (50,000 円 × 14 件)	生涯学習振興課	H20～H24 年度 (100%)
10) 拝所等の整備促進	市内に所在する指定文化財(無形民俗を除く)管理団体への管理委託を実施。(44 件: 合計 990,000 円)		H20～H24 年度 (100%)
8 施政方針及びマスコミ等で発表した公約政策			
1) エコアイランド宮古島の推進	・エネルギーの地産地消及び、省エネ意識の促進等を目的とした「島嶼型スマートコミュニティ実証事業」を行いました。(事業費: 860,393 千円) ・エコアイランド宮古島の推進に際し、島一丸となった取り組みを進めるため、「エコアイランド宮古島の推進に関する条例(仮称)」制定に係る調査を行いました。(事業費: 4,095 千円) ・宮古島市の住宅・事業所でのエネルギー消費動向について、消費状況の実測及びアンケート調査を行いました。(H23～H24 事業費: 2,536 千円) ・蒸暑地域に適した省エネ型住宅(エコハウス)の見学と宿泊体験を通じ、市民、島内外の建築関係者等にエコハウスの建築工程及び、性能紹介を行いました。また、毎月開催している「暮らし講座」により、エコライフ、エコアイランド宮古島の取り組み紹介などの情報発信を行いました。(事業費: 735 千円 利用者: 1,564 名)	エコアイランド推進課 及び全部署	H20～H24 年度 (100%)
2) 国民健康保険税率の見直し	平成 22 年度に国民健康保険税条例の一部を改正し、国保税率を引き下げました。	国民健康保険課	H21～H22 年度 (100%)

個別施策	平成 24 年度における主な取り組み内容	担当課名	目標年度 (進捗状況)
4 観光及びスポーツの振興			
1) 市民と観光客が一緒になって楽しめる新たなイベントの企画	平成 22 年度に観光協会を事務局とした官民連携により、エコアイランド宮古島マラソンをスタートさせました。また、マンゴー祭り、牛祭りを開催し、宮古島産マンゴー、宮古牛のおいしさを島内外にアピールしました。	観光課	H21～H22 年度 (100%)
2) 海・浜を利用したレジャー及びイベントの充実	H24 実績: 海族まつり(2,075 千円)、ピ-パレ-(1,240 千円)、風ジェットスキー(200 千円)の海浜関連イベントに対し補助を行いました。(補助金 3,515 千円)	観光課	H21～H24 年度 (100%)
3) 児童・生徒・市民の健康促進のための市体育協会の育成強化	昨年度に引き続き宮古島市体育協会へ補助金(同額)を交付しました。また、県民体育大会が当市で開催されたため 50 万円増額しました。(H24 年度 14,500 千円)	市民スポーツ課	H21～H24 年度 (100%)
4) 環境未来税の新設による観光、健康施設の整備充実	平成 22 年度には、関係各課と連携して「法定外目的税」新設の可能性を図るため関係資料の収集や調査等に努めましたが、①政府は消費税の税率を平成 26 年 4 月から段階的に引き上げることを決定していること。②平成 24 年度から沖縄振興特別交付金(一括交付金)が交付され、観光や環境保全事業等に対し、交付金が活用できることなどから導入に向けた取り組みは控えていました。 しかし、今後観光資源の保全や施設の管理運営、また、エコアイランドを持続的に推進するための財源確保が不可欠であることから、法定外目的税の新設に向け取り組む必要があります。	企画調整課	H21～H24 年度 (30%)
5 医療・福祉の充実			
1) 県立宮古病院の新築促進と市休日夜間救急診療所の併設	市の休日夜間救急診療所を併設した施設として、平成 25 年 6 月に開院しました。 県立宮古病院内に宮古島市休日夜間救急診療所を併設建設し、平成 25 年 6 月 1 日に診療所が開設しました。これにより市民の利便性や、宮古島市の 1 次救急の充実が図れます。 工事・監理負担金: 15,424,450 円	企画調整課 健康増進課	H21～H24 年度 (100%)
2) 託児所及び保育所等幼児対象施設の整備・支援強化	・砂川保育所の改修を行いました。(平成 21 年度) ・老朽化の著しかった東川根保育所を統合し、新東保育所を建設しました。さらに看護師を配置し、病後児保育にも対応できる体制を整えました。(平成 22 年度)	児童家庭課	H21 年度 (100%)
3) 長寿医療制度(後期高齢者医療制度)の充実強化の促進・支援強化	健診業務については、平成 22 年度より運営主体が市町村から後期高齢者医療広域連合に移行されたため、自己負担助成については後期高齢者医療広域連合が行っています。 宮古島市では対象者にチラシ配布や広報みやこじまへ掲載するなど健診に対する周知を行いました。	国民健康保険課	H21～H24 年度 (100%)
6 教育の充実			
1) 小・中学校の統合も含めた地域教育の在り方の検討	宮古島市学校規模適正化検討委員会の答申(平成 23 年 3 月)を受け、宮古島市教育委員会の宮古島市立学校適正規模についての基本方針を定め、規模適正化対象地区で説明会を開催しました。	学校教育適正化対策班 教育総務課	H22～H24 年度 (100%)
2) 豊かな心を育む学校教育費の大幅増額の実施	・宮古島市立小・中学校の読書活動の充実を図るため、図書購入に 8,428,698 円を充てました。 ・特別支援教育支援員を H23 年度の 19 名から 24 名に増員し、特別支援教育の充実を図りました。 (幼稚園 3 校・小学校 11 校・中学校 4 校 28,924,102 円) ・宮古島市立学校選手派遣事業を実施し、派遣費の一部を助成することにより、児童生徒が自ら学び意欲の高揚と保護者負担の軽減を図りました。小学校(県内 625 名、県外 32 名)計 4,934,980 円 中学校(県内 1,213 名、県外 16 名)計 11,409,200 円	学校教育課	H21～H24 年度 (100%)

個別施策	平成 24 年度における主な取組み内容	担当課名	目標年度 (進捗状況)
11) 新図書館移転 新築の調査・ 検討	新中央公民館建設基本計画及びデジタルアーカイブ基本方針を策定しました。また建設用地として、宮古病院跡地の利活用について所有者である国と調整を進めています。	中央図書館 建設準備室	H21～H28年度 (100%) (全体計画 の35%)
12) 水道事業の整備 促進	宮古島本島より伊良部島へ送水工事、需要水量に対応するための配水管工事を行いました。(この事業の進捗は伊良部大橋建設工事の進捗状況と連動しています)	上下水道部 総務課	H21～H24年度 (100%) (全体計画 の49%)
13) 道路・港湾・ 下水道施設の 整備促進	平成 24 年度における補助事業で実施した路線は 6 路線で、そのうち 1 路線は整備を完了し、伊良部 148 号線(乗瀬橋)については撤去を完了しました。また平成 22 年度に私道整備補助事業を創設し、補助金を交付しています。(H24 年度：5 件、3,599 千円)	道路建設課	H21～H24年度 (85%)
	平成 24 年度新規事業として、平良港漲水地区複合一貫輸送ターミナル改良事業が採択されました。(総事業費 47 億円、整備期間 H24～H28) 事業規模：耐震強化岸壁 L220m 港湾施設用地 22,000 m ²	港湾課	H23～H24年度 (100%)
	公共下水道事業として、平成 24 年度は以下の業務を実施しました。 ・マクラム通り枝線工事 19,530,000 円 ・竹原 3 号線枝線工事 12,927,600 円 ・下地線枝線工事 17,094,000 円 ・竹原 1 号線枝線工事 16,642,500 円 ・汚水管実施設計業務 32,949,000 円 また、下水道施設を活用したし尿処理施設を整備し、処理能力の向上と環境への負担の軽減を図りました。	下水道課	H21～H24年度 (100%) (全体計画 の75%)
14) 消防機能の充 実	以下の研修へ職員を派遣し、技術力の向上を図りました。 初任教育、特殊災害科、予防査察科、危険物科、救急科、救助科、中級幹部科、防火管理指導員研修、気管挿管・薬剤投与研修、救急救命士養成課程、薬剤投与追加講習、無線従事者研修 (派遣職員数 18 名)	消防本部 総務課	H21～H24年度 (100%)
	平成 21 年度に水難救助資機材(ボート)を伊良部支所に配備し、また平成 22 年度に最新形式の救助工作車を購入し配備し、資機材の充実を図りました。 平成 24 年度には消防団城辺詰所に非常勤職員を配置し、救急体制の充実を図りました。		H21年度 (100%)
	平成 21 年度に、平良・下地・上野地区に 4 カ所、伊良部地区に 8 カ所の消火栓を設置し、火災時の迅速な水利確保の向上を図りました。		H21年度 (100%)
15) 市総合庁舎建 設	市民の利便性の向上及び業務の効率化を図るため、総合庁舎整備が必要であると考えます。平成 22 年度に新庁舎建設庁内検討委員会を設置し、検討を行いました。東日本大震災を教訓に防災機能等を兼ね備えた庁舎として整備する必要があります。 今後は、現在策定中の新宮古島市地域防災計画等を参考に、新庁舎建設計画の策定に向け取り組みます。	企画調整課	H22～H24年度 (30%)

宮古島市は、公約推進計画の実現に向け鋭意取り組んできましたが、目標は概ね達成できたと思っています。

計画の中には複数年かけて引き続き実施する事業も多数ありますが、2 期目でも継続して取り組むことで、さらなる飛躍につなげたいと考えています。

今後とも市民の皆様のご理解とご協力をよろしくお願いします。

宮古島市長 下地 敏彦

※ 本推進計画は市ホームページ (<http://www.city.miyakojima.lg.jp>) でも紹介しています。

お問い合わせは各担当課又は企画調整課まで ☎ 72-3751

個別施策	平成 24 年度における主な取組み内容	担当課名	目標年度 (進捗状況)
3) 県営公園早期 整備への要請 活動	県は平成 25 年度に県営公園基本計画等調査事業を実施するため 8,000 千円を予算計上し、基本構想の策定に着手することとしています。	都市計画課	H21～H24年度 (100%)
4) 市陸上競技場の 改修	平成 21 年度にトラックタータンの張り替えを行い、平成 22 年度には地域活性化・経済危機対策臨時交付金を活用してメーンスタンド・外周スタンドの改修工事を行いました。	市民スポーツ課	H21～H22年度 (100%)
5) 高齢者が活き 活きと暮らせる ための支援 強化	・敬老祝い金支給額：30,488,000 円 (70 歳～99 歳：3 千円 = 29,988,000 円) (100 歳以上：1 万円 = 500,000 円) (新 88 歳と新 100 歳：各祝い金の他、5 千円相当の記念品 = 1,250,000 円) ・老人の孤独死の防止を図るための見守り事業 = 1,800,000 円 ・連合会活動運営資金の助成 = 3,168,000 円 計：36,706,000 円	介護長寿課	H21～H24年度 (100%)
6) 安全・安心な 教育環境の充 実	子ども教室実施数 10 教室 ・教室開催数 延べ 350 回 ・運営委員 15 人 ・運営委員会開催 2 回(5 月・3 月) ・参加児童数 延べ 8,960 人 ・安全管理員・学習アドバイザー 延べ 1,394 人 ・ボランティア 延べ 266 人 総事業費 3,091,000 円	生涯学習振 興課 児童家庭課	H21～H24年度 (100%)
7) 心豊かな生涯 学習教育の実 現	生涯学習フェスティバルを毎年 1 月に開催し、生涯学習に対する意識の向上を図るとともに、団体や個人に対し社会教育功労表彰を行っています。 ・H24 年度開催日：平成 24 年 11 月 17 日(土)～平成 24 年 11 月 18 日(日) ・テーマ：『学び育てる 文化のまち みや〜く』 ・会場：宮古島市中央公民館 ・内容：教育功労表彰(1 個人)・講演会・活動展・舞台発表・体験実演コーナー ・野外ステージ・リサイクルバザー・キッズコーナー・おはなし玉手箱 ・軽スポーツ・セグウェイ試乗コーナー・宮古馬体験乗馬コーナー・加工食品販売・宮古島市体験工芸村・花づくり公開講座	生涯学習振 興課	H21～H24年度 (100%)
	中央 19 事業 延べ 1,773 人 1,067 千円 城辺 14 事業 延べ 1,552 人 686 千円 上野 10 事業 延べ 1,016 人 438 千円 下地 11 事業 延べ 1,140 人 498 千円 伊良部 8 事業 延べ 525 人 300 千円 久松 8 事業 延べ 674 人 300 千円 西原 10 事業 延べ 891 人 300 千円 下崎 9 事業 延べ 795 人 300 千円 計 89 事業 延べ 8,366 人 3,649 千円	中央公民館	H21～H24年度 (100%)
	平成 24 年 4 月に子ども劇団を設立し、8 月に「ゆうたっちょの中学生絵日記」3 月に「ゆうたっちょの中学生絵日記」再演及び「チェンジ・ザ・ワールド」公演を行いました。総事業費：6,076,849 円(一括交付金)	文化ホール	H23～H24年度 (100%)
	一括交付金を活用して博物館を改修・拡充し、展示物の充実を図るとともに、企画展の充実及び積極的な開催に努めました。	総合博物館	H24年度 (100%)
8) 新エネルギー 資源の活用推 進	・自然エネルギーの促進のため、市内の住宅用太陽光発電設置に対し補助金を交付しました。(対象：100 件、事業費：9,975 千円) ・再生可能エネルギーを活用した植物工場を構築し、新たな産業モデルの構築を目指すとともに、情報発信や人材育成、事業化支援を行うプラットフォームの構築に向けた調査を行いました。(事業費：8,295 千円) ・当市のバイオエタノール製造施設を活用し、バイオエタノールの高効率生産技術の確立を目指し検証を行いました。(平成 24 年度分事業費：16,657 千円) ・電気自動車の普及促進を図るため、充電設備を設置する者へ整備費の一部を補助しました。(対象：2 件、事業費：152 千円) ・島内の観光関連施設に電気自動車の充電設備を整備することにより、電気自動車の普及促進と観光振興を図りました。(設置 3 件、事業費：3,635 千円)	エコアイラ ンド推進課	H21～H24年度 (100%)
9) ごみ処理施設 の早期建設	・環境影響評価書を作成し、県へ提出しました。 ・ごみ焼却施設建設工事の発注を行いました。	環境施設 整備室	H20～H24年度 (100%)
10) 葬斎場の早期 新設	平成 22 年度に建設完了し、平成 23 年度より供用開始されています。	環境施設 整備室	H20～H22年度 (100%)

佐良浜クラブが県大会優勝・全国大会出場報告

7月5日、小学バレー・佐良浜クラブのメンバーが平良庁舎を訪れ、6月に行われた全日本バレーボール小学生大会沖縄県大会を制し13年ぶりの県大会優勝・全国大会出場を決めたことを市長に報告しました。

主将の仲間仁君は「優勝できたのは家族や地域の方々の応援のおかげ。夢だった全国大会で優勝を目指し頑張りたい」と抱負を語っていました。

市長は「沖縄代表という誇りを持って頑張ってください」と部員一同のさらなる活躍に期待を込めていました。

うまかい!かまかい!

宮古島の話題

【The Topics】



第23回サニツ浜カーニバル開催

第23回サニツ浜カーニバルが7月7日、下地の与那覇湾(サニツ浜)で開催されました。広大な干潟を舞台に水中駅伝、綱引き、宮古角力、浜競馬など様々なスポーツイベントが行われました。

騎手が宮古馬に乗って干潟を競走する浜競馬では、馬の迷走が会場を盛り上げる中、マイペースで確実なレース展開を魅せた紅一点の高校生が初優勝し、レースに華を添えました。

与那覇湾は、昨年7月に水鳥の生息地として国際的に貴重な湿地を認定するラムサール条約に登録されています。



ふんわり・・・紫いもの香り

7月9日、市内各小中学校で「紫いもパン」の試食会が給食時間に行われました。紫いもパンは市農政課、共同調理場、各製パン工場の連携と協力によって生み出されたもので市が紫イモの消費拡大、6次産業化の推進を狙い実施するものです。

給食には市長、関係者等も同席し、児童と一緒に紫色のふんわりとした紫いもパンに舌鼓を打っていました。

市では現在、この紫いもパンが県内の給食で提供できるように県に申請しています。



地域づくり支援事業

9団体に補助金交付

「平成25年度宮古島市地域づくり支援事業補助金(公募型)」の補助金交付決定式が市平良庁舎で7月16日に行われました。

この補助金は、地域づくり協議会を持たない平良地区で、地域活性化を推進する団体に交付することで、活動を支援し、自主的で個性豊かな地域社会づくりを目的としています。

今回、交付決定書を受けたのは右記の9団体です。



- 宮古島まちなか活性化推進委員会
- 宮古島マリンリゾート協同組合
- 山中喜会
- ミヤーク思い(うむい)の会
- 腰原自治会
- 宮古方言を広める会
- 大神・島尻婦人会
- 癒やしのイルミ会
- 鏡原青年会

熱中症を防ぐために

熱中症の発生は7～8月がピークになります。熱中症を正しく理解し、予防に努めましょう!

- 熱中症は、適切な予防をすれば防ぐことができます。
- 熱中症になった場合も、適切な応急処置により救命することができます。
- 一人ひとりが、熱中症予防の正しい知識をもち、自分の体調の変化に気をつけるとともに、周囲の人にも気を配り、予防を呼びかけ合って、熱中症による健康被害を防ぎましょう。

熱中症とは・・・

- 高温多湿な環境下で、体内の水分や塩分のバランスが崩れたり、体温調整機能がうまく働かないことにより、体内に熱がたまり、筋肉痛や大量の発汗、さらには吐き気や倦怠感などの症状が現れ、重症になると意識障害などが起こります。
- 気温が高い、湿度が高いなどの環境条件と、体調が良くない、暑さに体がまだ慣れていないなどの個人の体調による影響とが組み合わさることにより、熱中症の発生が高まります。
- 屋外で活動しているときだけでなく、就寝中など室内で熱中症を発症し、救急搬送されたり、不幸にも亡くなられたりする事例もあります。

急に暑くなった日は特に注意!

室内にいるときも注意が必要!

熱中症の予防法

熱中症の予防には、「水分補給」と「暑さを避けること」が大切です!

水分・塩分補給

- こまめな水分・塩分の補給
- ※ 高齢者、障害児・障害者の方は、のどの渇きを感じなくても、こまめに水分補給を。

熱中症になりにくい室内環境

- 扇風機やエアコンを使った温度調整
- 室温が上がりにくい環境の確保(こまめな換気、遮光カーテン、すだれ、打ち水など)
- こまめな室温確認

体調に合わせた取り組み

- こまめな体温測定(特に体温調整が十分でない高齢者・障害児・障害者、子ども)
- 通気性の良い、吸湿、速乾の衣服着用
- 保冷剤、氷、冷たいタオルなどによる体の冷却

外出時の準備

- 日傘や帽子の着用
- 日陰の利用、こまめな休憩
- 通気性の良い、吸湿、速乾の衣服着用

注意してください

- 暑さの感じ方は人によって異なります!
- 高齢者の方は特に注意が必要です!
- 熱中症患者のおよそ半数は高齢者(65歳以上)です。高齢者は暑さや水分不足に対する感覚機能が低下しており、暑さに対する体の調整機能も低下しています。
- まわりが協力して、熱中症予防を呼びかけ合うことが大切です!
- 節電を意識するあまり、熱中症予防を忘れないようご注意ください!
- 気温が高い日や湿度の高い日には、決して無理な節電はせず、適度に扇風機やエアコンを使用するようにしましょう。



熱中症になった時の処置は・・・

- 涼しい場所へ避難させる
- 衣服を脱がせ、身体を冷やす
- 水分・塩分を補給する

自分で水を飲めない、意識がない場合は、直ちに救急車を呼びましょう!